



研究テーマ

- 1 ヒトT細胞白血病ウイルス1型陽性膠原病リウマチ性疾患のレジストリ研究
- 2 重症熱性血小板減少症（SFTS）を主としたダニ媒介感染症の診断・治療の開発
- 3 新興・再興感染症の研究推進に資するバイオリソースの構築

研究概要

関節リウマチや膠原病といった自己免疫疾患の病態解明やウイルス感染症の研究を推進しています。ヒトT細胞白血病ウイルス1型（HTLV-1）感染症の膠原病リウマチ性疾患への影響を解明すべく、日本で唯一のHTLV-1陽性膠原病リウマチ性疾患患者のレジストリ研究を運営しています。

また、宮崎県で感染者の報告が多いSFTSの迅速診断試薬や治療法の開発を行っています。その一環として、SFTSウイルスや新型コロナウイルスを生物資源として利活用し、感染症研究を推進するためのバイオリソースの構築を進めています。

1 ヒトT細胞白血病ウイルス1型陽性膠原病リウマチ性疾患のレジストリ研究

近年、免疫抑制療法を中心とした治療の進歩により、膠原病リウマチ性疾患の患者さんの予後は著しく改善しました。その一方で、免疫抑制作用による感染症や発がんのリスクが上がるのではないかと臨床課題も存在します。HTLV-1は、成人T細胞白血病（ATL）の原因ウイルスで、日本は先進諸国で唯一のHTLV-1感染流行地域です。HTLV-1感染のある膠原病リウマチ性疾患の患者さんでは、特に、免疫抑制療法がHTLV-1感染症にどのような影響を及ぼすのか定見がありません。ATLを発症しやすくなるのではないかと患者さんのご相談も多いのが現状です。私たちは、世界的にも類を見ないHTLV-1陽性膠原病リウマチ性疾患患者さんのレジストリ（患者登録）研究を運営し、HTLV-1感染症と膠原病リウマチ性疾患の未解決の臨床的課題の解明に取り組んでいます。

2 重症熱性血小板減少症（SFTS）を主としたダニ媒介感染症の診断・治療の開発

SFTSは、ダニに咬まれて発症するSFTSウイルス感染症です。非常に致死率が高い感染症として有名ですが、宮崎県は全国でもSFTS発生件数が最も多い地域です。また、SFTSはヒトだけでなく、ネコやイヌといった愛玩動物にも発症しますので、ヒトと動物に共通する感染症（人獣共通感染症）として問題です。SFTSの致死率の低減には、早期診断・治療が重要とされますが、未だに有効な治療法がないのが現状です。私たちは、SFTSの早期診断技術の確立、治療法の開発に取り組み、SFTS患者さんの多い宮崎県の医療への貢献を目指しています。

3 新興・再興感染症の研究推進に資するバイオリソースの構築

世界的流行となった新型コロナウイルスは、今もなお収束の目途が立たず、多くの人々に危機的影響をもたらしています。感染症が世界的脅威になりうることを、多くの人々があらためて認識したと思います。今後も起こりうる感染症の脅威に対峙するべく、ウイルス感染症の治療薬やワクチンの開発を目指す研究基盤は非常に重要です。私たちは、宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター（CADIC）と共同で、新型コロナウイルスやSFTSウイルスなどを生物資源として利活用するためのバイオリソースを構築・運営しています。感染症の脅威から、たくさんの人々を開放できる研究を推進します。

ホームページ

【URL 2 件以上あり】

技術相談に応じられる関連分野

該当なし

メッセージ

共同研究の希望テーマ：ウイルス感染症の迅速診断試薬の共同開発、抗炎症物質の探索による膠原病リウマチ性疾患およびウイルス感染症の新規治療薬の開発

梅北 邦彦

うめきた く に ひ こ

医学部

医学科

内科学講座呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野

准教授

キーワード

ヒトT細胞白血病ウイルス、関節リウマチ、自己免疫疾患、人獣共通感染症、ダニ媒介性感染症、新型コロナウイルス、COVID-19、診断試薬、抗ウイルス薬

特許情報・共同研究・応用分野など